

かみつけの里博物館基本的運営方針

1 理念

かみつけの里博物館は、史跡保渡田古墳群をはじめとする高崎市の貴重な歴史遺産を次世代に伝えていくために、以下の方針に基づき運営を展開していきます。

2 方針

(1) 展示

- 高崎市を中心とする地域の歴史に関する展示を行います。
- 史跡保渡田古墳群の価値をより多くの方に知ってもらうための展示を行います。
- 「特別展示」・「企画展示」では、高崎市所有資料を積極的に公開するとともに、県内外の関係機関とも連携していきます。
- 児童・生徒向けの展示を行い、学校教育とは異なる視点の学びの場を提供します。

(2) 資料の収集・管理

- 高崎市を中心とする地域の資料の収集に努めます。
- 資料の適切な管理に努めます。

(3) 教育普及

- 講演会や体験学習等を通じて生涯学習の機会を提供します。
- 学校教育との連携を図り、歴史についての学習を支援します。

(4) 調査・研究

- 資料の調査・研究を行い、新たな事実や価値の発見に努めます。
- 調査・研究の成果は、展示や講演会等を通じて公開していきます。

(5) 情報発信・連携

- インターネット等を活用して館の事業や史跡保渡田古墳群等に関する情報を積極的に発信していきます。
- 収蔵資料の貸出を通じて、県内外の関係機関との連携・交流を深めていきます。
- 関係団体との連携を図りながら、事業を展開していきます。
- 近隣の博物館施設（群馬県立土屋文明記念文学館・群馬県立日本絹の里）との連携を継続していきます。